

# 公益財団法人CTC未来財団

## 令和3年度(2021年度)第4期事業報告

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

この法人は、明日を変えるITの可能性に挑み、持続可能な夢のある豊かな社会の実現に貢献する「次世代の育成支援」を目的として、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(以下「CTC」という。)が設立者となり、2019年10月1日に設立されました。2021年3月1日に公益認定書を受領し、公益財団法人として公益目的事業に取り組んでおります。

第4期は、公益財団法人として一年間を通して活動した最初の事業年度となりました。新型コロナウイルス感染症の脅威が収束しない中、「児童・青少年に対するIT教育の支援事業」、「ITを志す青少年に対する修学支援事業」および「障がいのある青少年に対する修学及び就労機会創出の支援事業」の3つの公益目的事業に取り組み、まん延防止等重点措置による制限下に置かれた学生への支援として123名の学生に対して、一人20万円の「学生応援給付金」を支給しました。また、2021年11月より、この法人の活動趣旨に賛同いただいた個人からの寄附金の受入れを開始し、より広く活動をご理解いただくため、Webによる情報公開、新聞広告、様々な機会での広報活動にも取り組んでまいりました。

### 1. 事業の概要

#### (1) 児童・青少年に対するIT教育の支援事業

##### ① ビジュアルプログラミングによる創作意欲を育むワークショップ事業

新型コロナウイルス感染症への対策として、集合対面型の児童向けワークショップは全て中止しました。

##### ② 論理的思考とチームワークを育む教材貸出事業

2021年1月の小学校でのテスト授業を経て運用体制を整備し、「みんなでチャレンジ!ITエンジニア」(通称「みんチャレ」)として貸出教材の運用を開始しました。Webによる事例紹介を行い、4校の小学校へ教材貸出を実施しました。さらに、現場の先生方への認知度を高めるため、FAXによるチラシ配布や新聞広告を展開しております。

### ③ 論理的思考と情報科学を学ぶカード教材の開発

小学校低学年でも論理的思考と情報科学を学べるカード型教材については、情報オリンピック日本委員会（JOI）ジュニア部会と協力し、テスト授業を経て、小学1-4年生向け40枚のカードセットと小学5-6年生向け28枚のカードセットの解説書、収納箱をデザイン制作、2022年度より配布を開始します。

## (2) ITを志す青少年に対する修学支援事業

### ① 新規奨学生の募集及び選定

奨学事業として、2021年度対象大学30校（国公立大22校、私立大8校）を選定し、ホームページに掲載、大学を通して新規奨学生を募集しました。

- ・募集期間：3月15日から4月30日まで
- ・奨学生選考委員会：5月17日
- ・奨学生の決定に係る理事会：5月26日
- ・奨学生への決定通知：5月28日
- ・応募総数：56名
- ・決定奨学生：10名（1年生5名、3年次編入生5名）
- ・給付金額：月額6万円（年額72万円）返済不要
- ・給付期間：4年間（3年次編入の場合は2年間）いずれも正規の最短修学期間
- ・給付時期：3か月毎に給付

### ② 災害やパンデミック等により修学継続が困難な学生への応援給付

コロナ禍にともなう家計の悪化により修学継続が困難な状況にある学生を支援するため、8月時点でコロナまん延防止等重点措置が実施されている6都府県を所在地とする77大学を選定し、一時的な学生応援給付金の支給を行うことを第4回理事会（2021年8月30日）にて決定、大学を通し募集を告知しました。

- ・募集期間：9月6日から9月17日まで
- ・給付学生選考委員会：10月4日
- ・給付学生の決定に係る理事会：10月8日
- ・給付学生への決定通知：10月11日（大学を通して通知）
- ・証憑資料の提出期間：10月11日から10月22日まで
- ・応募総数：146名
- ・内定者数：128名
- ・給付確定者数：123名
- ・給付金の支給：11月9日
- ・給付金額：1人20万円 返済不要

③ 2022年度奨学金対象大学の選定

THE 世界大学ランキング 100 位までの大学を対象に、大学入試理系偏差値、大学インパクトランキングのポイントを抽出、上位 30 大学（国公立大 20 校、私立大 10 校）を 2022 年度奨学生募集対象大学として選定し、第 8 回理事会（2022 年 2 月 18 日）にて決定しました。

④ 財団奨学生交流会の実施

コロナ禍に入学した新入生のコミュニケーション不足が指摘される中、財団奨学生から「他大学の奨学生とつながりたい」とのご意見をいただき、2022 年 2 月 24 日奨学生交流会をオンライン（zoom）で開催しました。奨学生 7 名、財団から代表理事と事務局 5 名が参加し、自己紹介とともに自身の専門分野や趣味、休日の過ごし方など、様々な情報交換が行われ、奨学生同士、世代の異なる社会人との交流の機会を提供いたしました。コロナ終息後は、オンラインだけでなく対面での交流会も企画検討します。

⑤ 財団奨学生および給付金学生の学業生活状況の把握

財団奨学生については成績証明書と生活状況報告書、応援給付金学生については生活状況報告書の提出を求めています。（2022 年 3 月 1 日～4 月 30 日）

2019 年度奨学生（3 年次編入）の 2 名が、今春大学を卒業しました。

(3) 障がいのある青少年に対する修学及び就労機会創出の支援事業

2021 年度助成事業として、バリアフリー、情報保証等の対応を行う以下の大学等へ助成金を給付しました。

大学等の名称	助成対象	必要とする理由
国立大学法人兵庫教育大学	聴覚障がい学生に対するマイク等の備品	聴覚障がい学生の授業を支援する小型かつ軽量の指向性集音マイク、切り替え機器を整備することにより、学内だけでなく学外の活動に持ち運んで使用することが可能になる。
国立大学法人九州大学	オンライン授業での修学支援、災害時の避難備品	ハイブリッド型授業における聞き取りの向上や、音声認識アプリ等への接続による聴覚情報の文字化などにより、聴覚障がい学生はもちろんのこと、近年増加している発達障がい学生において注意集中の向上が期待できる。

		また、集団生活を余儀なくされる災害時の避難所で、服薬・自己注射などの際のプライバシーの確保や発達障がい・精神障がい者が安心して過ごせる空間を整備する。
学校法人日本福祉大学	講義受講支援のためのタブレット・PC等	支援者用の備品設備が整うことで、支援を受ける側と支援に入る側の関係性の向上につながる。
愛知県公立大学法人 愛知県立大学	聴覚過敏、弱視等の学生の為の備品・アプリ	大学卒業後の社会生活でもそれぞれの障がい支援に適した機器やソフトウェアが必要になる。将来自分で購入して使用できるようにするためにも、大学の機器を利用する試みを行う。
学校法人早稲田大学	Web ページ上の情報を強調や抑揚をつけて読み上げるスクリーンリーダーの研究	Web 作成者が強調して伝えたい情報を、視覚障がい者が強調の度合いも含めて、適切に聞き取ることができ、Web ページのよりよい理解につながる。一方、Web 作成者は通常用意しなければならない Web ページ情報以外の追加的な情報を必要としない。通常の作成方法となんら変わることなく、Web ページを作成すれば良い。
内閣府認定特区高等学校 明蓬館高等学校	高次脳機能バランサー等	発達特性を科学的に分析しエビデンスとするために、WISC4V、K-ABCD といった心理発達検査を実施しており、他の発達領域に対して認知機能がどのように変化向上していくのかを観察することで、生徒の持つ学習の可能性、進路イメージの形成、卒業後の進路決定に向けての就労観、職業観の育成に大きな役割を果たす。
特定非営利活動法人 Silent Voice	SoundDislay 及びスマートウォッチやスマートライトとの連携	振動や光により通知してくれるスマートフォンアプリ「Sound Display」を用いて、聴覚障がい者が「ストレス」「バリア」を感じることをしない環境づくりの実証実験を行う。

- ・募集期間：6月1日から7月15日まで
- ・助成金選考委員会：9月9日
- ・助成対象の決定に係る理事会：9月24日
- ・助成対象への決定通知：9月29日
- ・助成金の交付：11月1日（書類提出後随時）
- ・応募総数：7件
- ・決定数：7件
- ・決定総額：7,280,182円

## 2. 会議の開催状況及び決議内容の概要

- (1) 第1回理事会（決議の省略）・・・2021年4月1日
  - ① 業務執行理事の選定の件
  
- (2) 第2回理事会・・・2021年5月26日
  - ① 令和2年度（2020年度）（第2期及び第3期）決算の承認の件・・・承認可決
  - ② 令和2年度（2020年度）定期提出書類（事業報告等の提出）の承認の件  
・・・承認可決
  - ③ 令和3年度（2021年度）奨学生の承認の件・・・承認可決
  - ④ 選考委員の選任の件・・・承認可決
  - ⑤ 理事候補者及び監事候補者の承認並びに評議員会への上程の件・・・承認可決
  - ⑥ 主たる事務所の移転及び評議員会への上程の件・・・承認可決
  - ⑦ CTCからの寄附金受領の承認の件・・・承認可決
  - ⑧ 第4期第1回定時評議員会の招集の件・・・承認可決
  
- (3) 第1回評議員会・・・2021年6月15日
  - ① 令和2年度（2020年度）（第2期及び第3期）決算の承認の件・・・承認可決
  - ② 理事及び監事の選任の件・・・承認可決
  - ③ 定款変更の承認の件・・・承認可決
  
- (4) 第3回理事会（決議の省略）・・・2021年6月15日
  - ① 代表理事の選定の件
  
- (5) 第4回理事会（決議の省略）・・・2021年8月30日
  - ① 第4期「学生応援給付金」実施の承認の件・・・承認可決
  
- (6) 第5回理事会（決議の省略）・・・2021年9月24日
  - ① 第4期「助成金」給付団体決定の承認の件・・・承認可決
  - ② CTC追加寄附の承認の件・・・承認可決
  
- (7) 第6回理事会（決議の省略）・・・2021年10月8日
  - ① 第4期「学生応援給付金」給付学生決定の承認の件・・・承認可決
  
- (8) 第7回理事会（決議の省略）・・・2021年12月6日

① 旅費規程の承認の件・・・承認可決

(9) 第8回理事会（決議の省略）・・・2022年2月18日

① 2022年度奨学金対象大学及び募集要項決定の承認の件・・・承認可決

② 電子印鑑運用要領の承認の件・・・承認可決

(10) 第9回理事会・・・2022年3月11日

① 令和4年度（2022年度）（第5期）事業計画等の承認の件・・・承認可決

### 3. 寄附者一覧

2021年3月1日公益財団法人として認定を受けたことにより、2021年11月1日より個人寄附の受入れを開始しました。その結果、2021年度の個人寄附は34名、総額1,325,000円となりました。

2021年11月1日～2022年3月31日（敬称略・順不同）

法人		
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社		
個人		
松島 泰	平山 伸一	石塚 ますみ
鈴木 美和	中 千鶴	小宮山 絵美梨
尾本 昇	河村 修	常石 美和子
下地 俊一	平山 由利	菊地 哲
前山 和紀	土屋 貴之	須崎 隆寛
佐伯 和彦	柘植 一郎	奥村 弘幸
深澤 良彰	伊庭 勇治	山内 美佐子
匿名希望 13名		

以 上